

## 令和6年度第3回経営協議会議事要旨

日時	令和6年7月17日（水）14時29分～15時57分
場所	本部棟大会議室（一部の委員はZoomでの出席）
出席者	松田学長、佐藤理事・副学長、桃野理事・副学長、増田理事・副学長、吉田事務局長・副学長、風間委員、飯森委員、戎委員、青山委員、鈴木（恵）委員（Zoom出席）、鈴木（洋）委員（Zoom出席）、関委員（Zoom出席）、高宮委員（Zoom出席）、中村委員（Zoom出席）
欠席者	岩見委員、上田委員、大日向委員
出席オブザーバー	高橋監事、増江監事、川村副学長、花島副学長、董副学長、市村副学長
欠席オブザーバー	なし

議事に先立ち、前回開催した経営協議会の議事要旨及び発言内容記録については、議事要旨及び発言内容記録として確認された。

### 議題1 中期計画の自己点検・評価結果について

佐藤理事から、資料1に基づき中期計画の自己点検・評価結果について提案があり、審議の結果、原案のとおり了承され、教育研究評議会に付議することとされた。

資料1-1 中期計画の自己点検・評価結果について

資料1-2 自己点検・評価結果（令和5年度）

資料1-3 自己点検・評価結果（令和4年度）

### 報告1 大学の近況について

学長から、資料2に基づき大学の近況について報告があった。

資料2 大学の近況について

### 懇談1 国立大学を取り巻く状況について

資料3に基づき国立大学を取り巻く状況について懇談を行った。

（学外委員からの主な意見）

鈴木（洋）委員

- ・「しかしもう限界です」という言葉が印象的であり、全国の国立大学が財政的に厳しい傾向にあるのを認識した。
- ・我々経済産業省の施策の活用を視野に入れて、研究開発の推進や人材育成に活かしていただきたい。大学との連携は重要な課題であるため、これらの活用に向けて連携を深めたい。

高宮委員

- ・教員数が最も多かった年から40名程減少しているのに驚いた。

鈴木（恵）委員

- ・大学院の授業、実験、海外派遣等を考慮した場合、大学院にかかる経費をこの先どのように充実化させていくのか、ということが理系大学にとって一つの大きな課題になってくると思う。

青山委員

- ・教員数の減少や大学改革を行う中で、学生数に変動がないのは、先生方を含めた大学の資源が大学をよく支えていると感じた。

- ・東工大、九工大、室工大の三工大連携は、自治体にとっても近隣の市町村との連携を考えるヒントに繋がる。
- ・少子化の状況で留学生を含めた学生達が「室蘭で学びたい」と思えるようなところに軸を置き、そのうえで授業料の値上げを検討しなければならない時期だと思う。

資料 3-1 国立大学協会声明文

資料 3-2 国立大学協会声明【参考資料】

資料 3-3 東大授業料値上げ波紋+道内7国立大は否定【北海道新聞】

資料 3-4 授業料を標準額よりも高く設定している国立大学

資料 3-5 大学教育の多様化に向けて（中央教育審議会・高等教育の在り方に関する特別部会\_伊藤委員提出資料）

以上